

あだち 教育 だより 75

発行日 令和元年12月13日
発行 足立区教育委員会
編集 学校支援課

はじまりは
あだち

あだちの 「ICT」



あだちの 「世界の給食」

特集

◆ ついに本格始動！
学校授業のICT活用

いよいよ足立区でもICT教育が本格的にスタートしました！子どもたちがICTを使った新しい学びに挑戦する様子を特集します！

◆ あだちの給食で
世界をおいしく学ぼう！

東京2020オリンピック・パラリンピックはもうすぐ！あだちの子どもたちが楽しみにしている「世界の料理」給食メニューをご紹介します！



TOKYO 2020

HOST CITY



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES

足立区は東京2020オリンピック・パラリンピックを応援しています



ミライトワ ソメイティ

©TOKYO2020

ついに本格始動！

学校授業のICT活用

足立区では、今年7月から9月にかけて、全区立小・中学校にタブレットや大型ディスプレイなどのICT*機器を整備しました。ある日登校したら、教室に大きなディスプレイがあってビックリしたお子さんも多いのではないのでしょうか？

今回整備したICT機器の活用を通じて、子どもたちの学習意欲の向上と学力の定着をめざします！

今号では、導入されたICT機器を活用した授業の様子をご紹介します。

* ICT [Information and Communication Technology (情報通信技術)] の略。通信技術を活用したコミュニケーションをさす。



▲千寿本町小学校での授業の様子

ICT環境整備状況

- 1 児童・生徒用タブレットを40台～80台、全区立小・中学校に整備
- 2 教員に1人1台のタブレットを配付
- 3 全学級に高速無線環境と大型ディスプレイを整備

詳しい整備内容については

あだち教育だより 74号

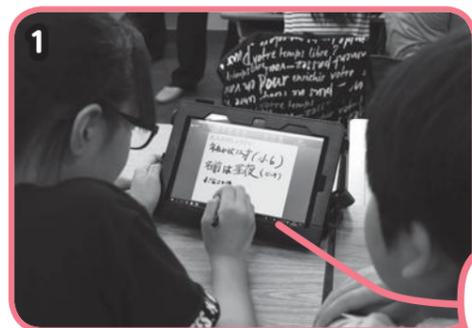
検索



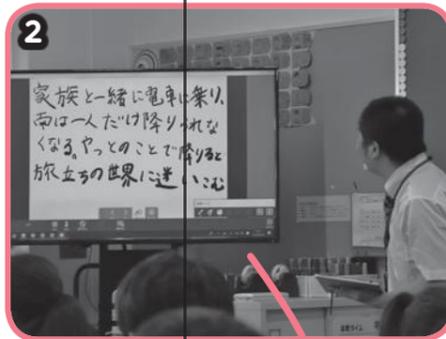
小学5年生 国語 × グループ学習ソフトの活用 みんなで物語を作ろう @ 千寿本町小学校

グループごとに作ったオリジナルの物語をタブレットに書き込み、スライドショーを作成。

タブレットを使うことで、グループ内の会話が活発になり、さまざまなアイデアを出すことができました。



1 タッチペンを使って、みんなの意見をまとめながら物語を作成。



2 スライドショーを大型ディスプレイに投影して、グループごとに物語を発表。

正解は次ページの欄外で！

小学5年生 体育 × 動画・画像による比較 器械運動・マット運動 @ 栗原小学校

タブレットのカメラ機能を使い、運動の様子を写真や動画で撮影！

自分のフォームを客観的に確認したり、友達同士で動きを観察・分析したりすることで、課題や技のコツを発見できました。



1 「せーの！」でタイミングに合わせてタブレットで撮影。

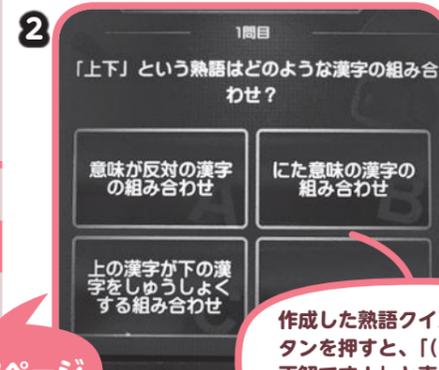


2 どうしたらもっと上手にできるかな？と、撮影した動画を真剣に確認！

小学4年生 国語 × プログラミング学習※1 熟語の構成を知ろう @ 西新井小学校

プログラミングソフトを使って3択の熟語クイズを作成。

熟語の構成について理解を深めるとともに、論理的思考を身につけることができます。



2 作成した熟語クイズ。正解のボタンを押すと、「(ピンポン) 正解です！」と表示されるようにプログラム。

1 「どの順番でコンピュータへの指示を並べればいいのか？」と試行錯誤。



3 最後はグループ内でクイズ大会！

中学2年生 英語 × デジタル教科書※2 コミュニケーション活動 @ 扇中学校

デジタル教科書を活用し、次々と大型ディスプレイに映し出される英単語に合わせてテンポよく発音を練習。

また、タブレットを使って英文を読む練習をした後、スピーキングの様子を動画で撮影することで、自分の話し方や発音を客観的に確認し、改善できました！



1 英単語と音声再生された後、日本語訳を表示。

2 英語の先生と生徒との英会話の様子を撮影！





東京2020
オリンピック・パラリンピックが
やってくる！

あだちの給食で

世界をおいしく学ぼう！

区立小・中学校や 区立保育園・こども園で世界の料理が給食として登場！

13カ国

8カ国

給食では「世界の料理」
を通じて、その国につ
いても学ぼう！



🇳🇱 ① オランダ

エルテンスープ

オランダの伝統的なスープ
で、エルテンとは「えんどう
豆(グリーンピース)」のこ
とです。トロトロに煮込ん
だ「いも」や「野菜」、「豆」
がうま味を出しています。

いもや野菜、豆をじっくり
煮こんだほっこりスープ



《学校栄養士の“声”》

給食では朝早くから、いもや野菜などを
じっくり煮込んで、現地の味に近づけると
ともに、苦手な子が多いグリーンピースはミキ
サーにかけて、なるべく目立たせないよう工
夫しました。



🇪🇬 ② エジプト

フィラハバネー

フィラハバネーとは、エジプト風チキン
カツです。ケチャップやヨーグルトなど
で肉に下味をつけているのが特徴です。

《学校栄養士の“声”》

下味が独特なので試作した時は真っ黒に焦
げてしまいました(笑)。そのため、実際の給
食の時は焦がさないよう注意して揚げました。

香辛料などの独特な
下味がついて
サクサク



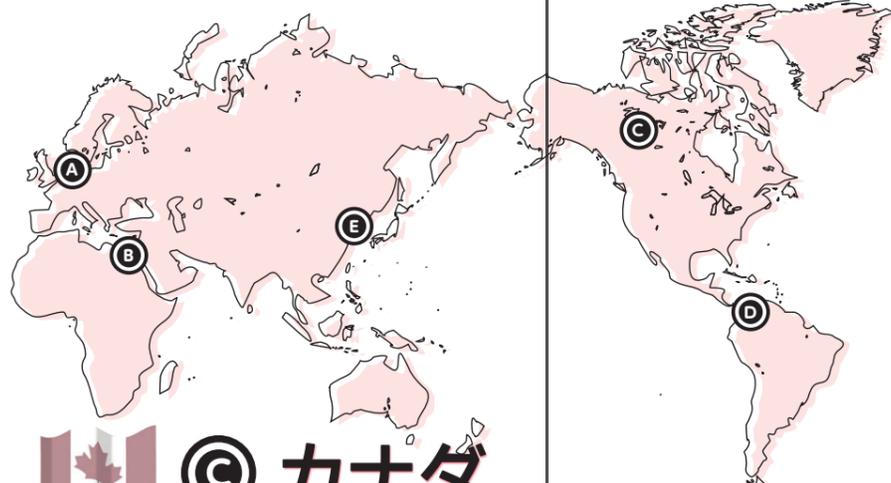
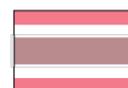
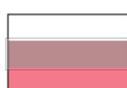
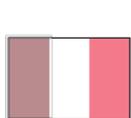
【撮影協力】

区立保育園・こども園：中央本町保育園、東綾瀬保育園 区立小学校：梅島小学校、西新井第一小学校 区立中学校：第七中学校、東島根中学校

information

区立小・中学校での世界の給食 学務課 おいしい給食担当 ☎ 3880-5427
区立保育園・こども園での世界の給食 子ども施設指導・支援担当課 食育担当 ☎ 3880-5446

※3ページの答え Q:「上下」という熟語はどのような漢字の組み合わせ? → A:意味が反対の漢字の組み合わせ



🇨🇦 ③ カナダ

秘密の森ケーキ「赤毛のアン」

カナダを舞台とした物語「赤毛のアン」
のお話に出てくるケーキを再現しまし
た。ケーキの中に何が入っているのだろ
う!?と子どもをワクワクさせます。

《学校栄養士の“声”》

りんごは小さく
切って生のまま使
い、レーズンはワ
インにつけ、しっ
とり感を出しまし
た。くるみの香ば
しさと相まって
子どもたちにも大
好評!



りんごやレーズン、
クルミが隠れてる?

🇨🇴 ④ コロンビア

エンパナーダ

エンパナーダは「パンで包む」と
いうスペイン語が名前の由来。
とうもろこし粉の生地でさまざまな
具を包み揚げた郷土料理です。

チーズやいも、
大豆も入った
スパイス風味の
揚げ餃子!?



《学校栄養士の“声”》

学校給食は大量調理になるため餃子の皮を
使用しました。
皮がパリパリしていて中身はスパイシーな
味で子どもたちも残さず食べてくれました。

西新井第一小学校 岩田 藤枝 栄養士



information

歯に関すること データヘルス推進課 多世代健康データ連携担当 ☎ 3880-5601

🇰🇷 ⑤ 韓国

ビビンバ

ピビン(混ぜる)とパプ(飯)が語源の韓国料理です。
数種類の具材をよく混ぜ合わせて食べます。

《保育栄養士の“声”》

ビビンバは区立園の定番料理。辛みは入れずに、
砂糖・醤油・ごま油など家庭にもある調味料で食材
のうま味を活かします。彩りよく盛り付けると子
どもたちは喜んで食べてくれます!
写真をカラーでお見せできないのが残念!

子ども施設指導・支援担当課
須藤 友美 管理栄養士



保育園でも
世界の料理!



丈夫な歯で
あだちの給食
をもっともっと
おいしく食べよう!



よく噛むと食べ物の形や硬さを感じるほか、
だ液と混ぜりあうことで味がよくわかるなど、
子どもたちの味覚の発達につながります。世界
の料理を味わえる貴重な機会です。ぜひ、よく
噛むことを意識してみてください。

データヘルス推進課(足立区役所南館2階)で
配布しています。▼



↓こちらから

あだち かむかむ

検索



あだちの郷土芸能を 継承しています!

始めたきっかけは、小学1年生のとき、お祭りでお囃子と出会ったことです。興味津々で見ていると勧められ、今でも続けています。郷土芸能の一番の魅力は音が広がっていくところです。

足立区は23区のなかでも数多くのお囃子や太鼓などの郷土芸能が伝承し、祭礼で大活躍している地域です。

その歴史は江戸時代にさかのぼります。かつては、家を継ぎ集落に残る長男にだけ伝えるものだったといわれ、若者は仕事が終わったあと、古老や先輩から毎晩厳しく稽古をつけられました。こうして鍛えた腕前は、都内のさまざまなお祭りにも招かれて披露するほどでした。

現在は「足立区郷土芸能保存会」の熱心な指導により、郷土芸能に興味のある子どもたちが芸の精進に努め、地域とのつながりを深めています。

長年稽古に励み、一定の技能を習得した子どもたちに、一層の活躍を期待して保存会と区が青少年奨励賞を授与しています。

◀青少年奨励賞を受賞した坂本 葵さん(鹿浜菜の花中学校2年生)

みなさんぜひ♪

足立区 郷土芸能

検索



郷土芸能を守り伝える
あだちの子どもたち

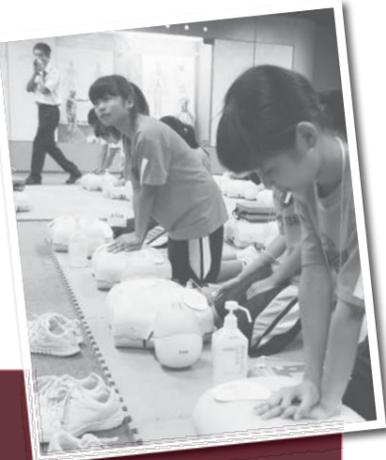


防災リーダー「中学生消火隊」 全中学校で発隊へ!

「中学生消火隊」が区内で初登場したのは、今から10年前の平成21年。東京消防庁のモデル事業として当初4校からスタートした本事業は、今年度、区内全中学校37校で発隊が実現しました。足立区の未来を守る防災リーダーの活躍が区内全域に広がっています。

区では本年、中学生消火隊の新たな取り組みとして本所防災館、そなエリア東京での防災体験学習会を開催しました。

防災体験学習会に参加した生徒からは、
「町の防災訓練にも参加したい」
「震災が起こった時に習ったことを生かして、みんなに教える立場になりたい」という声も。さまざまな体験を通じて、未来の防災リーダーとしての防災意識が育まれました。



いじめで悩んだら相談を!

- 足立区いじめ110番 ☎ 3880-5577
- 教育相談一般・東京都いじめ相談ホットライン ☎ 0120-53-8288

チャレンジ学級[※]は区内3カ所に開設しています!

詳しくはコチラ

足立区 適応指導教室

検索



information

- 郷土芸能 郷土博物館 ☎ 3620-9393
- 中学生消火隊 災害対策課 災害対策係 ☎ 3880-5836

※「チャレンジ学級」

学校に登校できない子どもに対し、学習支援や集団生活を通して、学校復帰や進学などをサポートします。

教育委員コラム

キーワードは「心を開く」

私は、「心を開く」ということを、人間成長のキーワードと捉えています。この言葉には、周りにいる人々や、周りで起こっている事柄を「よく知り受け入れていく」ことで、「自らの可能性を拓いていく」という意味があると思うからです。

「心を開く」ことの始まりは、予断を排し、接する人や物事に興味を持ち、よく理解することだと思います。そして、そこから人への興味と人との良い「関わり」が生まれます。興味を持って、人や物事に関わることは「楽しい」ことです。課題がある時は、その「楽しい」関わりを通じてそれを「改善する」

ことができます。

現代社会は、さまざまな課題に直面しています。貧富の差、差別、テロ、戦争、地球温暖化、また、子どもたちに関して言えば、児童虐待、いじめ、不登校、心理・発達上の課題など。

子育て、家族関係、友人関係、社会での人との関わりなどにおいて、互いに「心を開く」ことが実践されれば、上記のような課題が「改善される」基盤ができると思います。

私は、皆さんと力を合わせて、子どもたちがそのように「心を開く」ことができる環境をめざしていきます。



足立区教育委員会委員
近藤 俊明

-任期-

- 平成31年4月1日
- ～令和5年3月31日

-略歴-

- (米国ニューヨーク州) サイコロジスト (心理療法・心理査定)
- 東京福祉大学社会福祉学部教授
- 東京未来大学こども心理学部特任教授

初の試み! 「出張教育委員会」開催!

令和2年度から使用する小学校の教科書を決めるため、「西新井文化ホール」で教育委員会定例会を行いました。区役所外で定例会を行うのは初の試みです。広い会場で行ったため、希望する全ての方に傍聴いただくことができました。これからも、地域に開かれた教育委員会をめざしていきます。



▲令和元年8月26日開催 令和元年第8回足立区教育委員会定例会

当日の様子など、教育委員の活動を区HPで掲載しています!

コチラから

足立区 こんにちは、教育委員です!

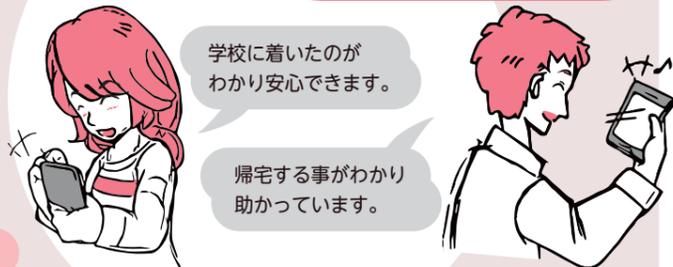
検索



小学1年生のお子さんを持つ皆さんへ 登下校等通知メール 小学1年生は無料

お子さんの登下校時と、学童保育室・児童館の入退室時に保護者の皆さんに通知メールをお送りします。令和4年度までに区立全小学校に導入の予定ですが、来年度から新たに導入する20校には、令和2年1月以降に申込書を配付する予定です。

ご利用には申し込みが必要です!



学校に着いたのがわかり安心できます。

帰宅する事がわかり助かっています。

▲モデル実施した学校のアンケート調査より

育英資金へのご寄附
ありがとうございました!

- 中村 政信様
- 針谷 幹夫様
- 鈴木 賢市様
- 匿名9名様

information

- 教育委員コラム 教育政策課 教育政策担当
- 教育委員会定例会 教育政策課 教育政策担当
- 登下校等通知メール 学務課 就学係
- 育英資金へのご寄附 学務課 助成係

- ☎ 3880-5962
- ☎ 3880-5962
- ☎ 3880-5969
- ☎ 3880-5977

サッカー全国大会



優勝 辰沼小学校 (5年生) **ひろかわ れいあ 怜吾 さん**



泣いた分強くなりました。

放課後は一人で自主練習。上達できず悔しくて涙を流すこともありましたが、それでも、コーチに教えてもらったことを次の練習までにできるようにと、動画でプロ選手の動きを研究しながら、できることを一つずつ増やしてきました。

努力を重ねた廣川さんはこの夏クラブチームで全国優勝。「上手いかわず、チーム内で言い合いになった時もあったけど、最後は気持ちを一つに頑張ったことでチーム力があがった」と力強く話します。

将来は、プロサッカー選手になりたいです。

三歳からボールを蹴り始めた廣川さん。大会でのポジションは左サイドバック。コーチから高く評価されるそのスピードをいかして、試合中は攻めにも守りにも精一杯走り、チームの勝利に大きく貢献しました。「信頼できるコーチがいたから」と感謝の気持ちを忘れません。「6年生になっても仲間と全国優勝したい。将来は、世界で勝負したい」と夢は大きくふくらみます。

第5回 全国中学生フェンシング選手権大会 フルール※



第5位 第一中学校 (2年生) **めくい 貫井 ゆら 由羅 さん**

日本代表 貫井 由羅

「リードされているときほど燃え上がる」と明るくハキハキと話す貫井さん。今年の全国大会でベスト8を決め、晴れて日本代表(U-15、U-17)に選出されました。

そんな貫井さんの強みは、毎日の練習で習得したパワーとスピード。そして忘れてならないのがハートの強さです。身長150センチと小柄ながら、大きい相手からの突きを全く恐れずに、堂々と攻め込みます。日々、自分より大きな男子生徒と練習することで鍛えられました。

原動力は「負けたくない」

来る日も来る日も練習を重ねる貫井さん。そんな貫井さんを突き動かす原動力は「負けたくない」という強い気持ちです。試合に負け続け、悔しい思いをした頃もありましたが、「次こそは」と前向きになることができた振り返ります。

「一瞬で勝負が決まるところがフェンシングの魅力。➤

一生楽しんでいきたい」と語ります。日本代表となった今後の目標は、「一つずつ勝っていくこと」。小さな騎士の世界に向けた挑戦が始まりました。



※ フルール
攻撃は突きのみで有効面は胴。攻撃をされた場合には、まず自身を守らなければならないなどのルールに従いプレイをする。

